



写真で見る社会科

北方領土 ～国後島～

写真は、2005年8月5日から、3泊4日の行程で、独立行政法人北方領土問題対策協会主催の北方四島交流教育関係者訪問事業として、国後島に、全国から教育関係者や中高生、さらには、主催者・通訳・医師等を含めた総勢72名で渡ったときの様子である。

写真①は根室から出港し、乗船した船から艇に移動する際に、ロシアの国境警備隊が入域手続きを行っている様子である。ビザを取得しての渡航は、北方領土に関する日本の立場を弱めてしまうため、ビザなしでの渡航となっている。写真②は正面から撮った「友好の家」である。建物の中は、食堂、シャワールーム、トイレ、そして、ベッドルーム（8人部屋）があり、少年自然の家のような施設になっており、宿泊させてもらった。写真③は、古釜布（ふるがまっぷ）日本人墓地の様子である。毎年、8月から9月にかけて旧島民等による四島にある親族の墓地への訪問が行われている。なお、国後島には

他に、東沸（とうふつ）日本人墓地もある。写真④は、ロシア正教教会である。今回の行程では、教会内の見学は組み込まれていなかったため、外観を撮ったものである。一般的に「ねぎ坊主」と呼ばれている頭部が特徴的である。なお、その形は火焰を現しており、教会内での聖霊の活躍を象徴しているものである。写真⑤は、日本人と国後島在住のロシア人子どもたちとの交流（ゲーム）大会の様子である。同行した日本人子どもたちは、前日からロシア人宅にホームステイを行い、ロシア子どもたちと寝食をともにし、この交流（ゲーム）大会に参加していたため、和やかな雰囲気のもと開催された。写真⑥は、船内から国後島を撮ったものである。

北方四島は日本固有の領土であるが、ロシアに不法占拠されている。そのため、このような交流事業を深めていくことが、返還後の日本人とロシア人との平和的な共生につながるのではと考える。

<宮崎市立大淀中学校 内田 智>

写・真・募・集

このコーナーの「カラー写真」を募集しています。国内・海外で撮影された社会科の写真を、資料編集部「中学校社会科のしおり」係までお送りください。